

# 中教審答申で教師教育はどう変わるか？

趣旨：2015年12月に発表された中教審答申184号によって、今、学校教員の養成・採用・研修をめぐる制度や内容が根本から変革されようとしています。戦後教育の総決算としての改革になる可能性が高いにもかかわらず、この改革の意義や課題はまだ十分に議論されているとはいえません。

情報を広く社会に公開し、一人でも多くの方と議論を深める機会にしたいと思っています。



日時：2016年12月4日（日） 13:00～17:00

12:30 開場

場所：早稲田大学 小野記念講堂

## シンポジスト

松木健一（福井大学・中央教育審議会委員）

「教員需要の減少と教師の高度化・専門職化のはざまの中で」

坂井俊樹（東京学芸大学・社会科教育学）

「教科教育（小・中・高の授業づくり）と教科（学問）教養」

油布佐和子（早稲田大学・教育社会学）

「教員養成の再編—行政主導の改革のゆくえ」

浜田博文（筑波大学・教育経営学）

「教員養成改革と教育学研究者養成」

司会 新井保幸（淑徳大学）・ 佐久間亜紀（慶應義塾大学）

コーディネーター 前田一男（立教大学）